



「砂防堰堤探検隊」

開催概要

- 開催日時 令和6年7月2日(火) 9:30~13:30
- 開催場所 イーハートブ火山局、二双沢砂防堰堤、
焼走り溶岩流、外水沢砂防堰堤建設工事現場
- 参加者 雫石町立西山小学校6年生児童 29名

実施内容

岩手河川国道事務所、岩手県、雫石町では、次代を担う小学生を対象に、八幡平山系における土砂災害(火山噴火)の発生メカニズムや、地域の安全を支える砂防施設の役割を理解し、災害から自らの命を守る知識を習得することを目的に、『砂防堰堤探検隊』を開催しております。

平成8年度から開催し、今年は雫石町立西山小児童が探検しました。

まず午前中の座学では、岩手山は近年噴火の可能性が高まったことや、噴火した場合に発生した土砂災害(山くずれ、土石流)を動画で体感し、国土交通省が実施している災害の被害を軽減するための砂防事業(砂防堰堤など)について紹介しました。その後、クイズにも挑戦し、模型実験で砂防施設の役割を学びました。次に、実際に砂防堰堤を見学し、その大きさを感じてもらいました。また、特別天然記念物に指定されている焼走り溶岩流を見学し、噴火から290年経つ今でも残る荒涼とした景観を眺めました。

午後からは、岩手県が担当する砂防堰堤建設工事現場を見学しました。児童の皆さんにとって、防災意識を高める一助となれば幸いです。後日、児童の皆さんから心温まるお礼の手紙をいただきました。ありがとうございました。

実施状況



火山局で座学の様子



二双沢砂防堰堤の前で記念撮影



外水沢砂防堰堤建設工事現場の見学